

あべのタスカルにおける
防災体験学習プログラム及び
施設体験価値向上に関する検討会議



【あべのタスカル検討会議】



昨年度の会議結果と取組み

①コース体験のコーチングについて

振り返りの重要性と体験者のレベルに
合ったコーチング



随時、指導内容の更新

「感震ブレーカーの紹介」「消火奏功事案紹介」

コース体験終了後に避難はしごの展示・体験（希望者のみ）

実践型消防体験教室を受講し、スキルを向上

②有料化の検討・自主事業の拡大

より高度な防災学習体験の有料化検討

グッズ販売→インターネット販売、企業とのコラボ等



次期指定管理に向け、有料化の検討

インターネット販売の開始（指定管理者のネット
販売）

③起震装置更新に伴う代替展示

R7の代替展示からR8の代替展示改善



業者と調整の結果、代替展示の必要なし

R7代替展示コーナーの一部常設

「避難はしご展示・救助袋体験」

④阿倍野防災センター施設の移転について

利便性の良さ

災害対応施設と一般利用の施設を一体にするべきでない



消防局としても、現在の場所で運営継続の
意向

指定管理者の更新業務

ロードマップ

令和11年度に実施する指定管理者選定開始までの3カ年のロードマップ





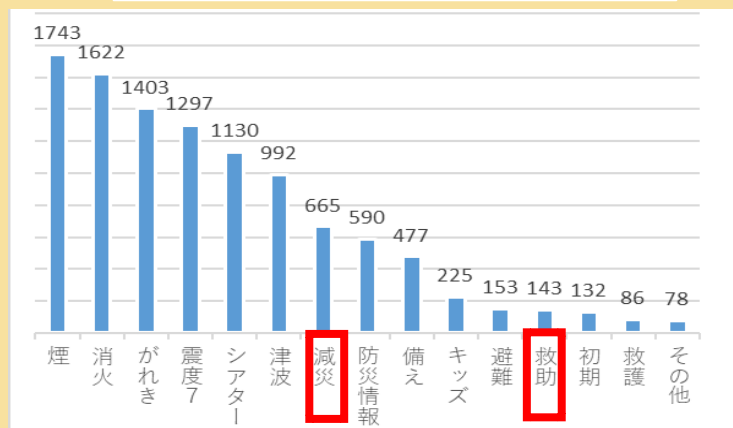
議題 1「展示更新について」



アンケート結果
(展示コーナー)

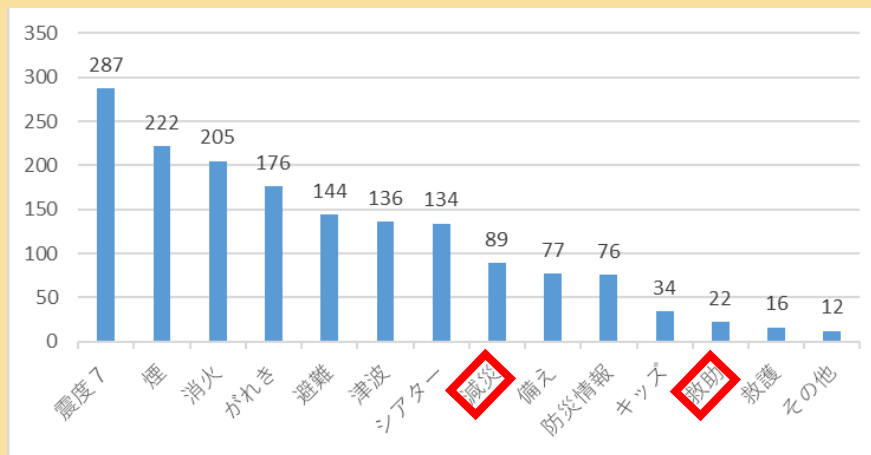
単純集計結果

満足したコーナー（複数選択）

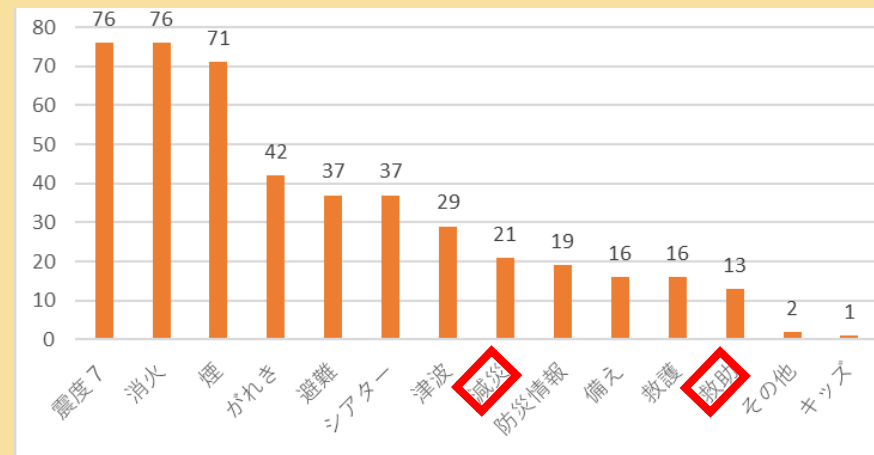


クロス集計結果

Aコースを体験し満足したコーナー（複数選択）



Bコースを体験し満足したコーナー（複数選択）



展示内容の更新 アンケート結果から

評価の高いコーナー

煙を学ぶ



消火を学ぶ



がれきの街



震度7体験



評価の低いコーナー

① 減災を学ぶ



② 救助を学ぶ



③ 備えを学ぶ



展示更新検討①（減災を学ぶコーナー）



地震が起きたら

地震発生

1 身をかくせ

揺れを感じたら、まずはあわてず落ちついて、家具や天井の落下きにならないように、丈夫なもので身体を保護しましょう。



2 火に近づくな

都市ガスは震度5相当以上で自動的に遮断されます。無理に火を消そうとせず、揺れがおさまるまで近づかないようにしましょう。



「ガスマイコンメーター」について

ガスマイコンメーターには次の場合、自動でガスを止める機能がついています。

- ガスの消し忘れなどで、**15分以上**使用時間が長い場合
- ホースの抜けなどで、ガスが不自然に大量に流れた場合
- ガス使用中に、震度5相当以上の地震があった場合 など

自動停止しても自分で復旧操作をするとガスが使えようになります。復旧方法がわからないときは販売店へ連絡してください。

揺れがおさまったら

1 火元を確認

揺れがおさまったら速やかにストーブやアイロンを切り、ガスの元栓を閉めましょう。ブレーカーも切りましょう。



2 出口を確保

ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。家族は大丈夫か確認し、けが人が出た場合は、隣近所の人助けを得て病院へ向かうことを考えましょう。



3 余震に注意

ラジオ・テレビをつけて情報をできるだけ早く確認し、冷静に行動しましょう。外に出る場合は、家の倒壊に備えて、安全な服装で身を守りましょう。



4 裸足はダメ

家の内外は、割れたガラスなどで危険です。絶対に裸足では歩き回らないようにし、必ずくつ・スリッパなどを履きましょう。



5 連絡先の表示をしよう

避難所に入ったり、地域外に一時避難したりするときは、家前行き先や連絡先を表示しておきましょう。



漏電に注意

地震による火災の過半数は電気が原因です。地震発生時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」を設置しておきましょう。また、家を離れるときは必ずブレーカーを切りましょう。

★「感震ブレーカー」については「備えを学ぶ」コーナーで紹介しています。

展示更新検討②（救助を学ぶコーナー）



救助資機材を見てみよう

大阪市内には災害発生時に活用するための救助資機材が小中学校や公園などの消防ポンプ設備庫に保管されています。



ボール・ジャッキの使用方法 応用編



クラッシュシンドロームについて

地震発生から数時間経たずに発生する、建物の一部が倒壊して発生することにより、倒壊した建物の一部が倒壊した建物の一部に押しつぶされ、呼吸困難、出血、骨折、内臓損傷などの症状が現れる。これをクラッシュシンドローム（閉塞症候群）という。

救助してみよう

救助資機材を使用した救助のポイント

- 1 要救助者に声をかける**
救助にあたっては要救助者に声をかけ、安心感を与え、意識状態に注意を払いましょう。また、可能であれば閉じ込められている人数を確認しましょう。
- 2 周りに助けを求める**
周囲の人に声をかけて応援を求め、救助のための人数を確保しましょう。
- 3 障害物を取り除く**
要救助者の状況を確認のうえ、作業の妨げとなる部分を徒手または、のこぎり・かけや・ハンマーなどを必要に応じて使用し、慎重に取り除きましょう。
- 4 ジャッキを入れる隙間を作る**
ボールをてこにして、倒壊物を持ち上げます。できた空間が崩れないようにブロックや角材などを挟み、ジャッキを入れる隙間を作りましょう。
- 5 ジャッキで持ち上げ救助する**
隙間にジャッキを入れ、倒壊物を持ち上げます。持ち上げてきた空間が崩れないようにブロックや角材などを挟みます。倒壊物が崩れないように注意しながら要救助者を引っ張り出して救助しましょう。



展示更新検討③（備えを学ぶコーナー）





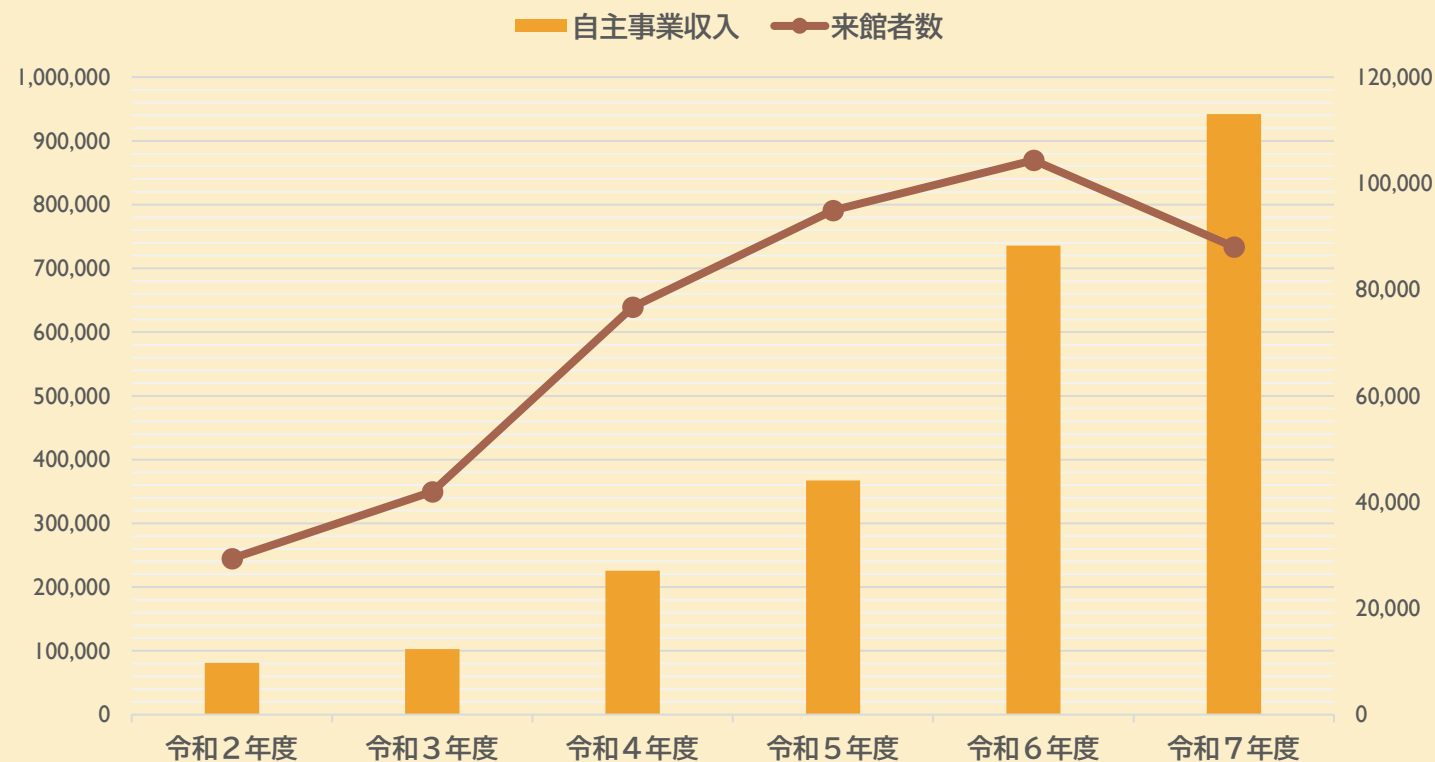
自主事業の拡大



自主事業とは・・・

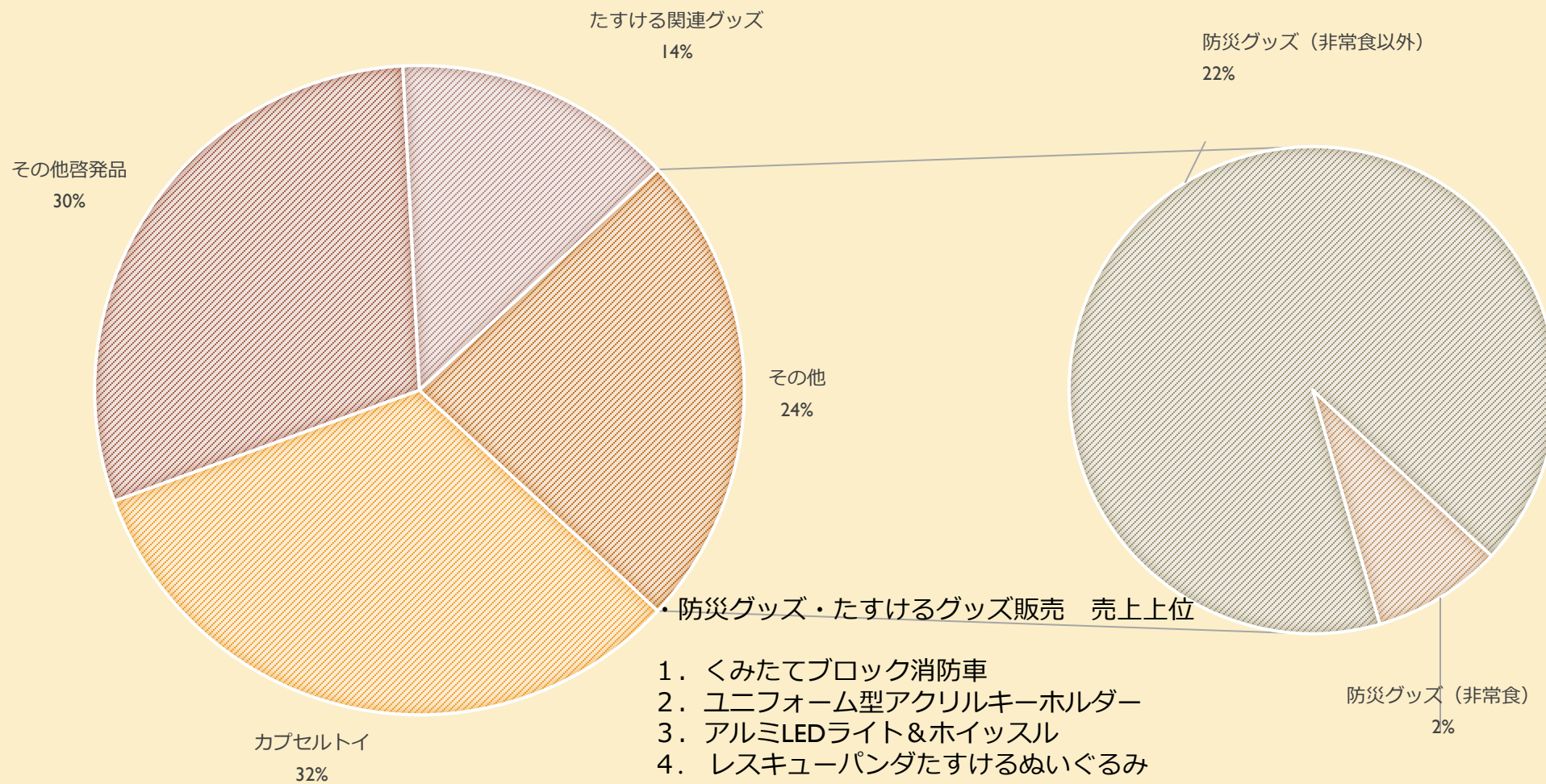
指定管理者が実施する、目的事業の実施に影響を与えない範囲で、施設目的に沿った事業を行うこと。

自主事業での収益は指定管理者の収益とすることができる。





グッズ売上げ別の割合





自主事業

課題

- ・利益の高い商品の開発
- ・利益が低い商品への対応
- ・客単価の増加
- ・リピーターの増加

◆たすける関連グッズ 導入経過

令和4年	レスキューパンダたすける めいぐるみ 導入
令和7年5月	関連グッズを導入 Tシャツ タンブラー 防災クッション トートバック
令和7年12月	定規を導入
令和8年1月	安否確認カードを導入
令和8年5月	ぷくぷくシールを導入



収益拡大の方策



- マーケティング・販促
- クロスセル戦略
- レコメンデーション
- セット販売・バンドル販売
- キャンペーン企画
- 店舗の売り場作り
- リピーター
- インバウンド
- 価格改正
- 出張販売



議題 3「施設の有料化について」



- 人件費や物価の高騰による社会情勢+予算確保困難のため施設の維持管理が難しい
- 一部有料化し、その財源により人材の確保&展示の充実を図る
- 具体的スケジュール：R11年度までに条例改正することは契約上困難。
- 次期指定管理期間（R12年度～令和17年度）に向けて検討



有料化は、単なる財源確保ではなく、施設の持続的な運営と公平な負担を実現するための**制度設計**として検討していくことが必要



有料化の検討項目

■ 有料化目的の明確化

- ・ 維持管理費の確保
- ・ 施設サービスの向上
- ・ 持続可能な施設運営

■ 料金設定

- ・ 市内、市外利用者の区分
- ・ 減免制度（高齢者、障がい者）
- ・ 年齢対象別による区分

■ 現状分析

- ・ 利用率、稼働率
- ・ 維持管理コスト
- ・ 利用者層
- ・ 周辺自治体、類似施設の状況

■ 利用への影響

- ・ 利用者数の減少予測
- ・ 地域活動への影響
- ・ 市民への説明、意見聴取

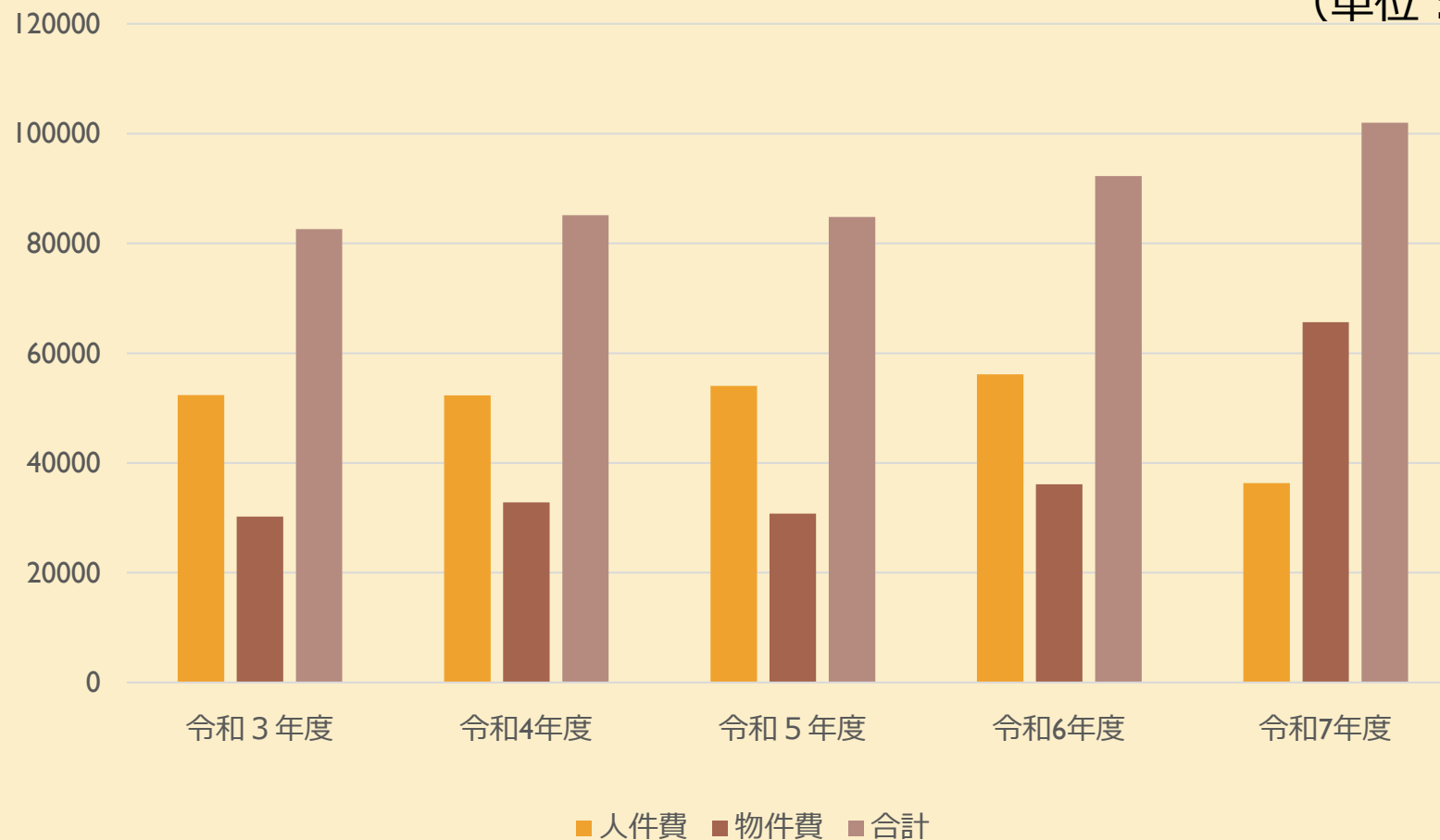
稼働率

(単位：%)

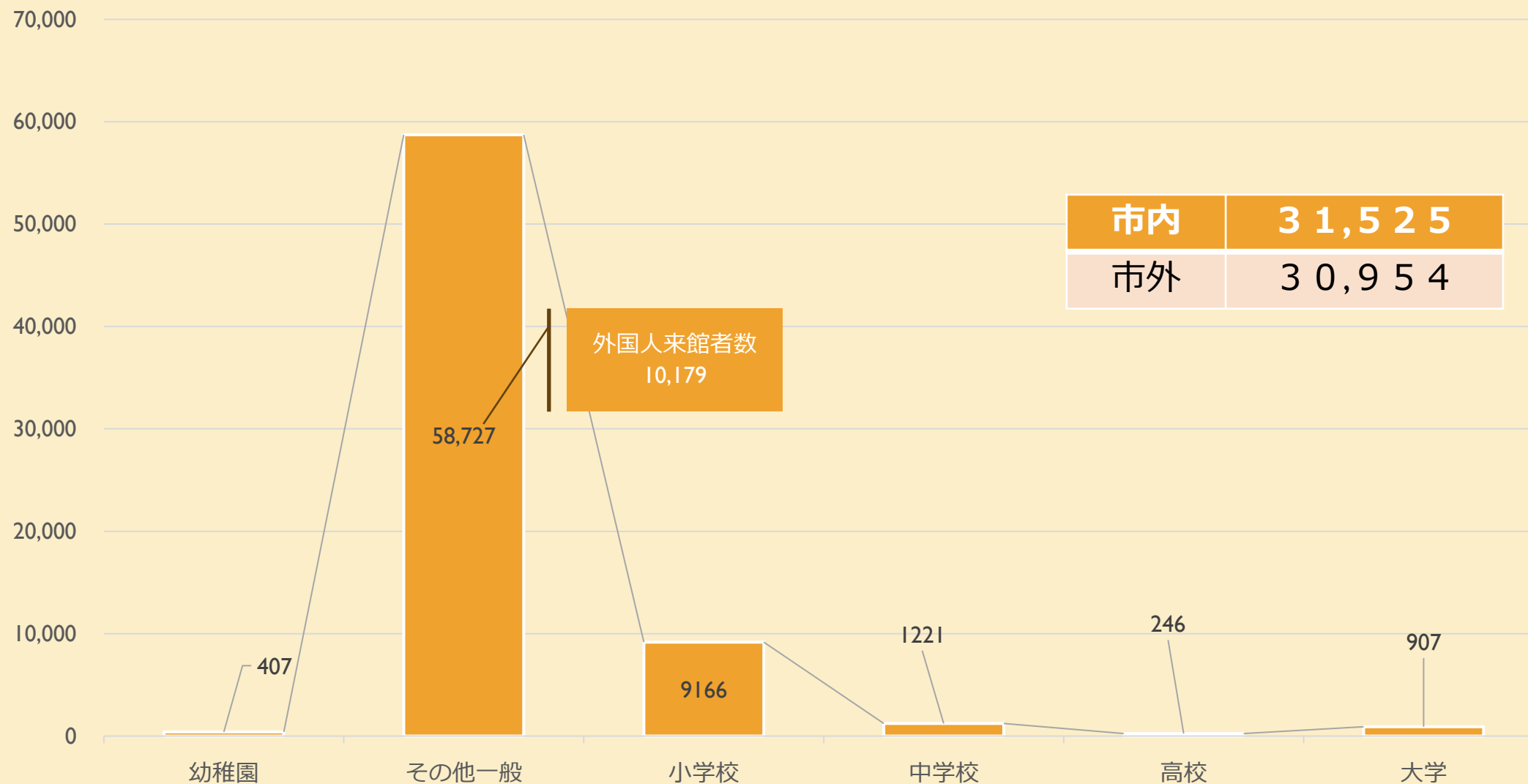
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
60.3	81.2	86.6	84.9	98.7	98.8	44.9	92.3	68.1	70.1	73.4	85.0	79.3

維持管理コストの推移

(単位：千円)



災害体験ゾーン来館者（利用者層）





周辺自治体、類似施設の状況

人と未来防災センター（兵庫県）

西館・東館

大人	650円（500円）
大学生	450円（350円）
高校生	無料
中学生・小学生	無料

東館のみ

大人	300円（250円）
大学生	200円（150円）
高校生	無料
中学生・小学生	無料

70歳以上の高齢者

西館・東館

300円（250円）

東館のみ

150円（100円）

障がい者

西館・東館

大人	150円（100円）
大学生	100円（50円）

東館のみ

大人	50円（50円）
大学生	50円（40円）

稲村の火の館（和歌山県）

入館料

〔濱口梧陵記念館の入館は無料〕

一般	500円（20名以上の団体は割引有）
高校生	200円
小・中学生	100円

学校の教育活動の場合、小・中学生は半額

障がい者手帳をお持ちのご本人と介護者1名は、入館料が半額となります（手帳の提示が必要です）

議題 4「阿倍野防災センターの更新計画について」

「令和7年度大阪市一般会計予算」に対する付帯決議を受けて

【維持管理費及び委託運営費も鑑みた上で、将来にわたって必要な消防力を維持できるよう、あべのタスカルを含めた消防局所管施設全体について、施設規模や機能分担を含めて将来需要を見越した計画を立てること】

阿倍野防災センターの更新計画を検討する必要



昨年度のご意見より

「利便性や災害対応、コストも考慮し安易に移転すべきではない」